

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	大牟田市役所		代表者名	大牟田市長 関 好孝	
担当者部署	企画総務部		連絡先電話番号	0944-41-2511	
担当者役職	主査	担当者氏名	前原 早紀	連絡先E-mail	*****
住所	836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	牛島 清豪	
評価	大変よい	
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	3日目は「一般職員向け」と「管理職員向け」に研修を開催した。一般職員向けについては、2日目同様にワークショップを通じてデータの利活用方法について学ぶことができた。結果として、職員が自身の業務の中にオープンデータ化できるデータがあるかどうか考えるきっかけとなり、今後のオープンデータ推進に繋げることができたと考えている。管理職員向けはデータ利活用とDXの関係性を学ぶと同時に、2日目の一般職員向け研修で出た意見を共有することで、職員の意識の醸成のほか、管理職の意識改革も不可欠だということを再認識した。	
アドバイザーへの要望事項	特にありません。	

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	2023年12月19日	講演(実地)	有	2023年8月21日	862
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年12月26日	講演（実地）	10時30分	17時00分	70
				活動時間（分）	320
3-2. 派遣場所	会場名	大牟田市役所	最寄駅	大牟田駅	
	所在地	福岡県大牟田市有明町2丁目3番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/</a>
------	--------------------------------------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	48人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	職員にオープンデータの意義や推進する必要があるのか等の基本的な知識が根付いていないこと、また庁内外における利活用方法について自ら考え行動することができる職員の育成が課題となっている。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	・全体：オープンデータを利活用することで、業務効率化や市民サービスの向上が図られることを認識する ・一般職：自身が携わる業務に関するデータの棚卸しを実施し、政策立案や地域の課題解決等にオープンデータを積極的に利用できるようになる ・管理職：職員のデータ利活用及びDX推進のマインドを醸成する	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	今回は一般職員向け研修と管理職向け研修を開催した。 ・一般職員向け（座学、ワークショップ）：2日目同様 ・管理職員向け（座学）：オープンデータの基本的な知識や意義、デジタル庁の取り組み、データを活用した自治体や団体の事例等を学んだ	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンデータの定義や意義等の基本的な知識を学んだ</li> <li>・データを活用することにより、市民サービスの質の向上と職員自らの業務効率に繋がることを理解することができた</li> <li>・RESAS等のシステムを利用することで、経験や勘だけでないデータに基づく客観性のある企画立案が可能となることを認識できた</li> <li>・他自治体の活用事例について知ること、自身が携わっている業務の中にオープンデータがないか考える機会になった</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙参照ください。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	オープンデータの普及促進に取り組むことで、業務効率化や市民サービス向上が図られることを認識し、職員自らがオープンデータを積極的に活用することが目標。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

